# GO-GO ゴーゴー

## 取扱説明書

**注意:**
**ご使用の前に必ずこの**
**取扱説明書に目を通し、**
**その指示に従ってください。**

*The Ultimate In Style & Performance®*


株式会社 アルケアコーポレーション

*www.alcarecorp.co.jp*

# 目次


I. **始めに** ..... 4

II. **安全のために** ..... 5

III. **電磁波障害について** ..... 13

IV. **仕様** ..... 14

V. **各部名称と機能** ..... 16

VI. **バッテリーと充電** ..... 20

VII. **操作** ..... 24

VIII. **快適に使用するための調整** ..... 25

IX. **分解および組立** ..... 26

X. **トラブルシューティング** ..... 28

XI. **お手入れとメンテナンス** ..... 30

XII. **保証** ..... 31

# Ⅰ. 始めに

## 安全性

ご購入いただきましたゴーゴーを操作・走行する前に、必ずこの説明書のすべてに目を通し、すべての指示に従って正しい操作・走行をしてください。説明書の記載について理解できない場合、あるいは操作方法について更に情報が必要な場合にはご購入の販売店、またはアルケアコーポレーション・サポート係(０１２０-309-313)にお問い合わせください。

この説明書で使用されている下記の記号は、危険、警告および注意を意味します。必ずすべてに目を通し、理解してからご使用ください。

| | |
|---|---|
| | **危険** この説明書の注意を無視した場合、死亡または重傷を引き起こします。 |
| | **警告** この説明書の警告を無視した場合、死亡または重傷を引き起こす可能性があります。 |
| | **注意** この説明書の注意を無視した場合、けがまたは物的被害を引き起こす可能性があります。 |

※　安全性を無視した使用から生じる損害・けが・事故などに対して当社は一切責任を負いません。また、この説明書に記載されている指示、本体に添付された警告を守らないことから生じた損害・けが・事故などに対しても当社は一切責任を負いません。

## 製品購入後の注意

1. 使用者の変更がある場合は、ご使用前に必ずご購入の販売店、またはアルケアコーポレーションにご連絡ください。
2. 購入後に改造、変更、各種部品や弊社の認めていないオプションの取付は行わないでください。
3. 製品に貼られた危険、警告、注意のシールの指示に従ってください。また本体に貼られているシールははがさないでください。
4. 操作するときは安全を心がけ、危険な行為や注意不足を避けるよう心がけてください。

## その他の注意

この取扱説明書は作成時点での最新仕様と最新情報に基づいており、製品が仕様変更された場合、この説明書の説明図とご購入商品との間に若干のくい違いが生じる場合がありますのでご了承ください。それが原因で操作や機能にご不明な点がある場合は、販売店またはアルケアコーポレーション・サポート係までお問い合わせください。

この説明書の指示に従ってもトラブルが解決しない場合には、ご購入の販売店またはアルケアコーポレーション・サポート係にお問い合わせください。

米国プライド社国内代理店
アルケアコーポレーション・サポート係
〒270-0145千葉県流山市名都借996番地
TEL:（04）7140-0017　FAX:（04）7140-0018
フリーダイヤル:（0120）309-313
mail@alcarecorp.co.jp

# II. 安全のために

**注意** 必ずこの説明書のすべてに目を通し、内容を理解してから操作してください。

ゴーゴーは最先端の機能を備えた電動4輪カートです。アルケアコーポレーションはこの他にもご使用者に合わせた製品を取り揃えております。

製品の選択をする際は専門のスタッフのアドバイスを受けることをお勧めします。(例: 販売店、医師、作業療法士、ケアマネージャー)

また、選択の際はご使用者の身体状況に加えて、ご使用の環境（使用する道路環境、充電場所、保管場所等)にも十分配慮するようにしてください。

## 操作に慣れるまでの練習

1．ご自宅周辺の身近な場所で、練習をしてください。
2．付添いの方とともに練習を行うようにしてください。
3．操作に慣れるまでは最低速で使用してください。
4．坂道は避けるようにしてください。
5．小さな段差でも避け平坦なルートを選択してください。

以下の指示は製品の機能性や安全性を損なわないためのものです。

## 改造について

ゴーゴーは最高の機能性と装備を持っています。改造や変更はゴーゴーの機能や安全性を損なう可能性があります。

**警告** 故障や事故の原因になりますので、改造、変更、各種部品や弊社の認めていないオプションの取付は行わないでください。

## 取り外せるパーツについての注意

**警告** 本体から取外したり、引き抜いたり出来る部分を装着しないまま使用しないでください。

## 電磁波について

携帯電話やラジオ等の電波を出す機械、テレビ局やラジオ局のアンテナが強い電波を出す施設の周辺では、電磁波が電動カートの動作に影響を与える場合があります。「III. 電磁波障害について」をご覧ください。

# II. 安全のために

## ご使用前の確認

ご使用の製品を十分に理解することは大変重要です。安全にスムーズに使用していただくために、ご使用前には安全チェックを行うことをお勧めします。詳細は「XI. .お手入れとメンテナンス」を参照してください。

## ご使用前に以下のチェックを行ってください。

- タイヤにひびが無いか。溝がすり減っていないか。
- 配線はしっかり差し込まれているか。腐食したりしていないか。
- 接続部はきちんとはまっているか。
- ブレーキはきちんと作動するか。
- バッテリーはきちんと充電されているか。

もし問題がある場合は、ご購入の販売店またはアルケアコーポレーションにお問い合わせください。

## 最大積載量

許容される最大積載重量は117kgです。

> **警告**
>
> 事故や故障の原因となりますので最大積載量を越えた積載はおやめください。
>
> 使用者以外の人を乗せたまま、走行しないでください。

## 坂道での注意

最近では、車椅子や電動スクーターで走行するための緩やかなスロープが少しずつ増えてきていますが、スロープの傾斜や幅によっては操作にコツがいる場合があります。

- 下り坂や傾斜面での通行には十分に気をつけてください。
- 曲がり角では後輪がコーナーや縁石に乗り上げてしまうことがありますので、出来るだけ大きな弧を描いて曲がるようにしてください。
- 下り坂ではゴーゴーのスピード調整ダイヤルを亀マーク(最低速)にセットし、速度が出過ぎないようにゆっくりと注意しながら通行してください。
- 急停車や急スタートは避けるようにしてください。

## ブレーキについて

ゴーゴーには強力な2段階のブレーキ機能が搭載されています。

1. アクセルレバーを元に戻すと、速やかに速度がおちます。

2. 速度が十分におち停止状態に近づくか、何らかの理由で電源が切れると車輪がロックされます。

# II. 安全のために

坂の途中ではなるべく停止しないようにしてください。どうしても坂道で停止しなければならない場合、再度動き出すときにはゆっくりと慎重に加速してください。
下り坂ではスピード調整ダイヤルを最低速(亀)の方へセットし前進のみで走行してください。
もし動き出して思ったより速度が速い場合は、速やかにアクセルレバーから指を外し完全に停止させ、再度ごく浅くレバーを押して速度を調整してみてください。

坂道を通行する際は十分に注意して操作してください。

転倒の可能性がありますので坂道をジクザクに登ったり、横切ったりしないでください。

**危険** 雪、氷、草の生えている等の滑りやすい坂道の通行は決してしないでください。

少しでも傾斜のある場所では、車輪開放レバーを決して解除(前に倒した状態に)しないでください。車体の重量で動き出す可能性があり非常に危険です。

図1．の推奨登坂角度を越えた傾斜の通行は絶対にしないでください。

すべての坂道が電動スクーターの通行に適した傾斜とはいえません。 図1.は 使用者の体重別の登坂推奨角度です。表記されている角度を越えた傾斜の通行は故障や事故の原因となりますので絶対にやめてください。

ここに示した性能はあくまでも指針です。実際には、斜面走行時のスクーターの登坂性能はお客様の体重や速度、斜面の角度などによって変化します。

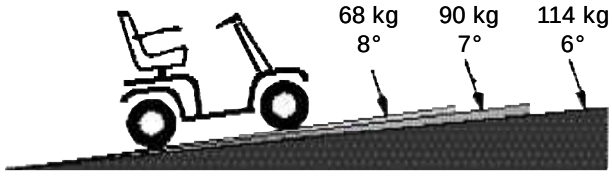


**図1．最大推奨登坂角度**

**警告** 図1．の推奨登坂角度を越えて走行した場合の故障、事故、怪我につきましては 、すべてご使用者の責任となります。

後部かごをご使用の場合、決して5ｋｇ以上の荷物をのせないでください。

# II. 安全のために

坂道を上る場合、図2A. のように上半身の体重を前方にかけるようにしてください。重心が前に移動して安定します。

図2. 通常走行姿勢

図2A. 坂道を上る時の姿勢

## 曲がり角での注意

曲がり角での高速通行は転倒の大きな原因の一つです。 その他にも、ハンドルの切りすぎ、カーブ内の傾斜、凸凹な路面、路面の変化(舗装されている路面から未舗装の路面への通行)などによっても転倒の可能性は高くなります。転倒の危険を感じたら、すぐに速度を落とし、ハンドルの角度を直進の位置へ戻してください。

**危険** 事故や怪我の原因となりますので、曲がり角を曲がる場合は、 急ハンドルを切らず、速度を十分に落として通行してください。

## 野外走行の注意

ゴーゴーはコンクリートやアスファルトのような固くて平らな路面での走行に適しています。公園や野外で走行する場合は、以下の注意を守ってください。

- 凸凹な路面や柔らかい路面では十分に速度を落としてください。
- 車輪に絡み付くような背の高い草の生えた路面は避けてください。
- 柔らかい砂利道や、ぬかるんだ路面は避けてください。
- 走行に不安を感じる路面の通行は避けてください。

# II. 安全のために

## 公共の道路での使用について

**危険** 電動スクーターでのほとんどの事故は車道で起きています。必ず歩道を通行し、車道では使用しないでください。
車のドライバーにとって、電動カート及び電動カートのシートに腰掛けた使用者は非常に認識しにくいといえます。混雑した場所での使用は避け、交通ルールを守り、十分な注意をはらって操作してください。

## 障害物について

**危険** 盛り上がった路面、崖、溝階段等の落下、転倒の危険性がある場所には近づかないでください。

4cm以上の段差の上り下りはしないください。

段差の上り下りは必ず前進で行ってください。

段差の上り下りの際は、段差に対して垂直に通行するようにしてください。
(図3. 図3A. 参照)

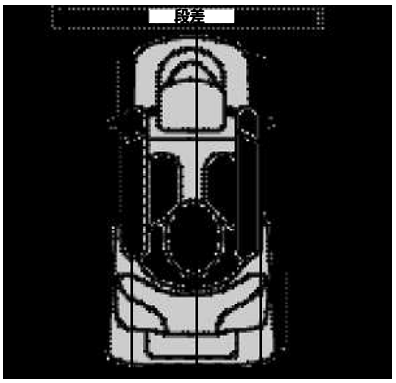


図3. 正しい段差の上り下り

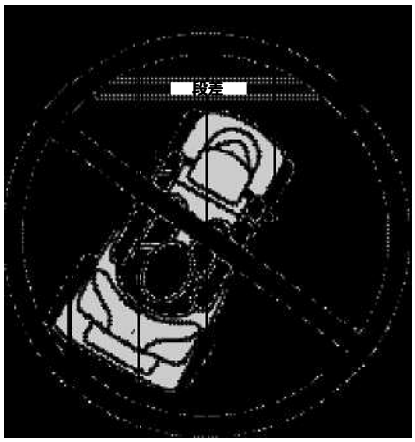


図3A. 誤った段差の上り下り

## 過酷な条件での使用について

**警告** 凍結した路面、滑りやすい路面での走行は避けてください。ゴーゴーの性能や安全性に悪影響を与えるだけでなく、事故やけがの原因になります。

雨・雪・霧などの悪天候下での走行・保管は避けてください。電気部品の故障や走行不能になる可能性があります。

# II. 安全のために

## 車輪開放レバー

車輪開放レバーを前側に倒すと、車輪ロック状態が解除され、ゴーゴーを手押しできる状態になります。 詳しい方法については 「V.各部名称と機能」をご覧ください。

**危険**

車輪開放状態にすると電磁ブレーキ解除されます

- 少しでも傾斜がある場所では車輪開放状態(車輪開放レバーを前に倒した状態)にしないでください。車体自身の重みで動き出す可能性があります。
- 車輪開放状態のときには電源を入れないでください。
- 車輪開放状態のままシートに座ったり、ゴーゴーの前後に立ったりしないでください。事故やけがの原因になります。
- 手押しをする時以外は、車輪開放状態にしないでください。

## 階段とエスカレーター

ゴーゴーは階段やエスカレーターで使用するようには出来ていません。

**警告** 階段やエスカレーターでの使用はしないでください。貴方や貴方以外の方の怪我や事故原因になるおそれがあります。

## ドアの出入り

- ドアが、押して開くのか、引いて開くのかを確認してください。
- ドアノブ、または取っ手を回してください。
- ドアを押して開く場合は、そのままゴーゴーを静かにゆっくりと前進させ、開けてください。
  引いて開く場合は、ゴーゴーを静かにゆっくりと後進させ、開けてください。

## エレベーターの乗り降り

- エレベーターのドアに挟まれそうになった場合は、内ドアを手で押すか、ゴーゴーのサイドフレームをエレベーターのドアに当てて閉まらないようにしてください。
- エレベーターのドアに本や買い物袋などが挟まれないように注意してください。

.

# II. 安全のために

## バッテリー

バッテリーを扱う際は、以下の注意をお守りください。

**警告**

バッテリーは重量がありますので、持ち運ぶときには腰を痛めたり怪我をしないように、十分注意してください。

バッテリーの端子やその周辺は鉛、または鉛化合物が付着している場合があります。触れた後は必ず手を洗うようにしてください。

事故や故障の原因となりますので、バッテリーは凍らせないようにしてください。また、凍ってしまったバッテリーは決して充電しないでください。

赤いケーブルは(＋)、黒いケーブルは(－)の端子へ必ずつないでください。不良のケーブルは速やかに交換してください。

## バッテリーの廃棄とリサイクル

バッテリーの故障やバッテリーの寿命の際は、ご購入の販売店またはアルケアコーポレーションに直ちにご連絡ください。

## 輸送時の注意

輸送する場合は、以下の注意をお守りください。

**警告**

自動車で輸送する場合に、ゴーゴーのシートを座席代わりに使用しないでください。

自動車で輸送する場合に、一体型バッテリーパックが動かないようにしっかりと固定してください。

## 誤動作を防ぐには

**警告**

誤動作による怪我や事故を防ぐため、一定の時間を越えて停止する場合は、キーを抜き電源を切るようにしてください。

# II. 安全のために

### 乗り降りの際

乗り降りの際は以下のことに気をつけてください。

■ 車輪開放レバーが後側に倒れているか確認してください。「V.各部名称と機能」をご覧ください。

■ シートがしっかりと固定されているか、電源がオフになっているか確認してください。

**危険**

シートに腰掛ける時は背もたれにしっかりと密着するようには深く腰掛けてください。

転倒や怪我の原因となりますので、乗り降りの際、肘掛に体重を掛けるのはやめてください。

転倒や怪我の原因となりますので、足元デッキに全体重をかけるのはやめてください。

### その他

ゴーゴーのフレームやその他部分を曲げたり、延ばしたり、傾けたりしている場合は決して使用しないでください。重心がずれ、転倒、怪我、事故の原因になる場合があります。改造等が必要な場合は、ご購入の販売店またはアルケアコーポレーションにご相談ください。

**警告**

ゴーゴーのフレームやその他部分が曲がったり、延びたり、傾いたりしている状態で、路面の物を拾ったりする場合、重心を失い転倒する可能性があります。.

# III. 電磁波障害について

## 電磁波障害について

電磁波によって電動スクーター・電動車いすが動作不良を引き起こすことが報告されています。電磁波とは一種の電磁エネルギーで、電磁エネルギーが電気機器に有害な影響を与える場合、その悪影響のことを「電磁波障害」呼びます。弊社の電動スクーター・電動車いすは全て、ＡＮＳＩ規格（米国規格協会）基準の電磁波障害対策テストに合格しています。

**警告　電磁波が貴方の電動スクーター・電動車いすに影響を及ぼす場合があります。**

電磁波は、携帯電話、無線、ラジオやテレビの送信局のアンテナなどから送信されます。電磁波は発生源に近づくほど強くなります。電磁波が強まるほど、電動カート・電動車いすへの悪影響の可能性も大きくなります。
電動カート・電動車いすが電磁波障害を受けた場合、急停止あるいは急発進をすることがあります。また、ブレーキが開放されるだけでなく、電動カート・電動車いすの電気系統を故障させる原因になることもあります。

残念ながら、電磁波障害のすべての原因を確定するのは困難です。電磁波の発生源は目に見えない場合がほとんどだからです。電磁波障害の疑いがあり、電磁波の発生源が確定できない場合、お手数ですが、販売店またはアルケアコーポレーションにご報告ください。

## 電磁波への対策

**「使用中の電動スクーター・電動車いすが電磁波障害を受ける危険を減らすためにできることは何ですか？」**

- 電動スクーター・電動車いすの電源が入っている時には携帯電話や無線機などの携帯通信機器の電源を入れたり使用したりしないでください。
- 携帯電話等を使用される場合には、まず安全な場所に停車し、電動スクーターの場合にはキーを抜き、電動車いすの場合には電源を切ってから使用してください。
- 電動スクーター・電動車いすに乗車してラジオ局やテレビ局など強い電磁波を発生させる場所にはなるべく近づかないようにしてください。
- 販売店を通さないアクセサリーや部品の追加、あるいは車両の改造は、電磁波障害を受けやすくさせる可能性があります。
- 走行しない時、電動スクーターの場合にはキーを抜き、電動車いすの場合には　電源を切ってください

**「電動スクーター・電動車いすに動作不良が起きた時にすべきことは何ですか？」**

動作不良が起きた時は、安全の為に出来る限り早く電動カート・電動車いすを停止させてください。

**「電動スクーター・電動車いすに動作不良が起きた場合はどこに連絡すれば良いのですか？」**

お手数ですが、販売店またはアルケアコーポレーションにご連絡ください。

アルケアコーポレーション・サポート係
〒270-0145千葉県流山市名都借996番地
フリーダイヤル:（0120）309-313
support@alcarecorp.co.jp

# IV. 仕様

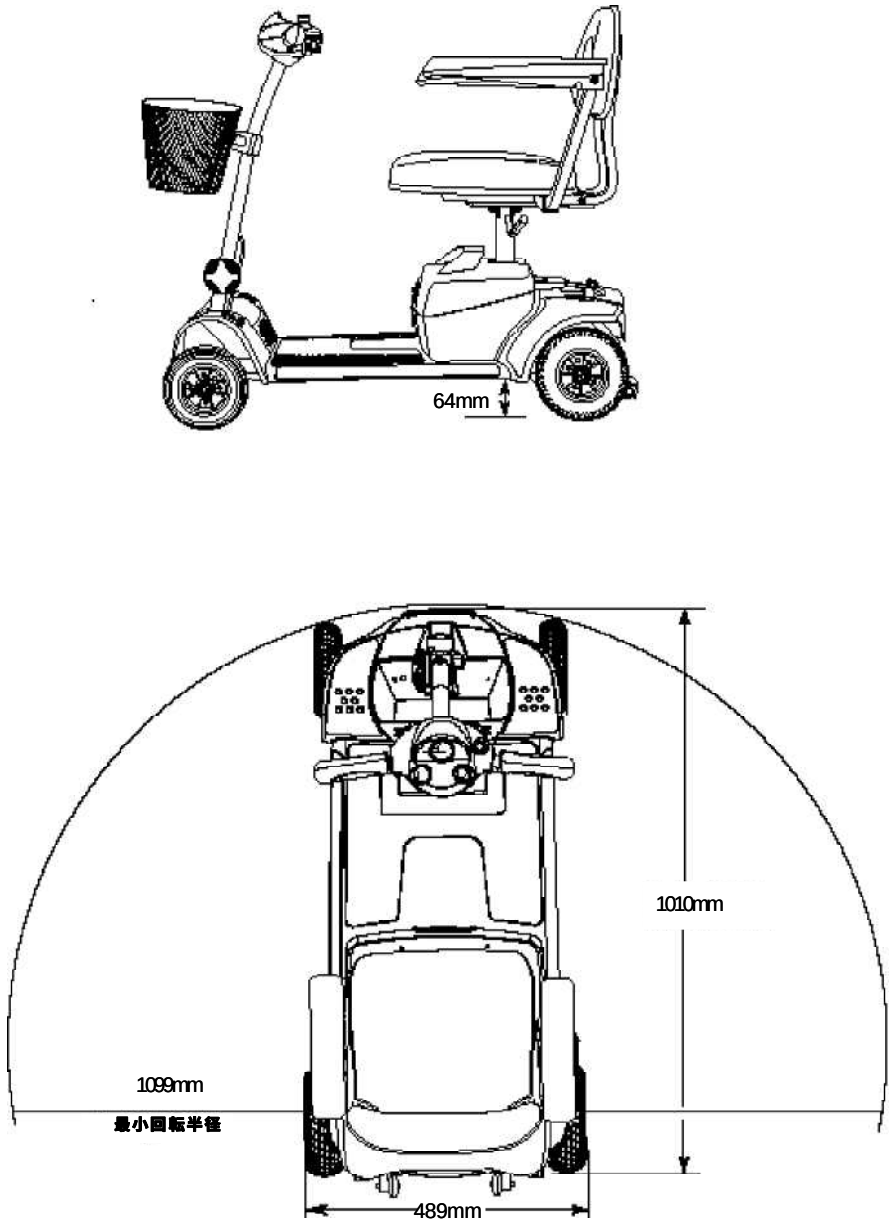


**図4. ゴーゴーのサイズ**

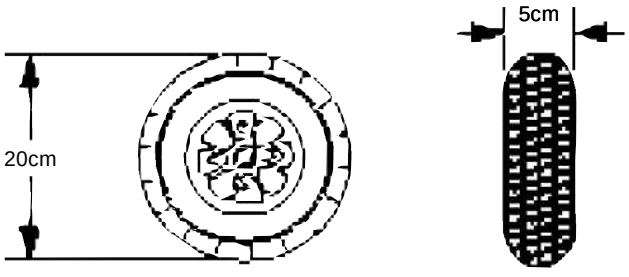


**図 4A. ゴーゴーの前輪・後輪**

# ＩＶ．　仕様

| 仕　様 | |
|---|---|
| 製品番号 | SC44E |
| カラー | レッド&ブルー/1製品 |
| 全長<br>全幅 | 1010mm<br>580mm(シート含む) |
| 本体重量<br>分解時に最も重い部分 | 52kg<br>前部：16.0kg |
| 最小回転半径<br>最高速度 | 116mm<br>6km/h |
| 連続走行距離* | 24km |
| 溝乗越幅 | 100mm |
| 最大積載量 | 147kg |
| シート | 折りたたみ可能、ウレタンフォーム<br>43cm. 幅<br>40cm 奥行<br>34cm 高さ<br>ブラックビニール |
| 駆動方式 | 後二輪直接駆動式, 24 volt DC モーター |
| 制動方式 | 電磁デュアルブレーキ |
| タイヤ型式 | ノンパンクタイヤ 2 in. x 7.5 in. |
| バッテリー | 12 ボルト, ディープサイクル<br>容量: 17 AH |
| 充電器 | オフボード |
| | |

* ご使用の状況や体重などにより連続走行距離は異なる場合があります。

# Ⅴ. 各部名称と機能

## 操作パネル

操作パネルにはキー、キーホール、スピード調整ダイヤル、アクセルレバー、バッテリー残量メーター、クラクションボタンが納められています。（図5を参照）

**警告** 操作パネルに水がかからないようにしてください。操作パネルが濡れた場合は、乾いた布で水分をふき取り、完全に乾くまで操作しないでください。

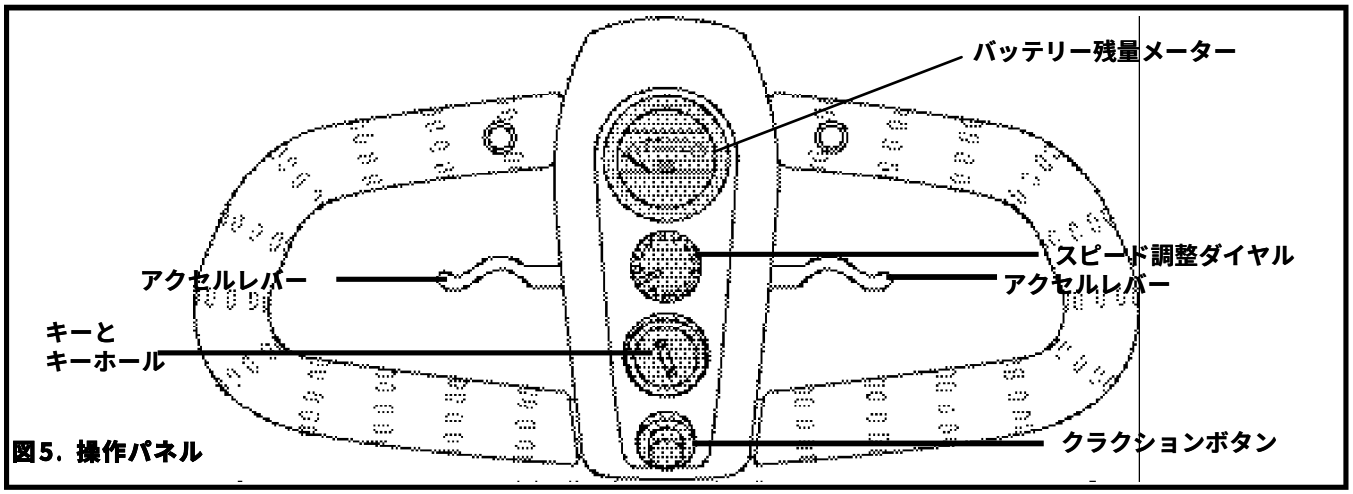


図5. 操作パネル

## キーとキーホール

- 電源を入れる場合は、キーをキーホールに差し込み右に(時計回り)回してください。
- 電源を切る場合は、キーを左に(反時計回り)回してください。

**危険** 走行中にキーを回すと電磁ブレーキが作動し、急停止及び事故の原因となりますので、必ず停止させてからキーを回してください。

## アクセルレバー

右側のレバーで前進、左側のレバーで後進します。スピード調整ダイヤルで前もって設定した最高速度までの範囲で、速度を調整できます。

- 両手でハンドルをしっかり握ってください。
- 右手の親指で右側のレバーを握ると前進します。
- 後進する際は、一度ゴーゴーを完全に停止させてから、左側のレバーを握ってください。
- アクセルレバーを放すと自動的に中央の「停止」位置に戻り、ブレーキがかかります。
- レバーの押し加減で、走行速度を微妙に調整することができます。

## クラクションボタン

クラクションブザーを鳴らすためのボタンです。ブザーを鳴らすには、キーをキーホールに完全に差し込み電源を入れた状態にしてください。左右一対になっているどちらかのボタンを押すと、ブザーが鳴ります。クラクションブザーは、事故またはけがを防ぐために鳴らしてください。

## スピード調整ダイヤル

スピード調整ダイヤルで最高速度の設定を前もってできます。操作に慣れるまでは、最低速で走行してください。

■v低速にしたい場合は亀マークに、高速にしたい場合はうさぎマークにダイヤルを合わせてください。

## バッテリー残量メーター

キーをキーホールに差し込みますとバッテリー残量メーターに大まかなバッテリーの残量が表示されます。

詳しくは、「Ⅵ. バッテリーと充電」をご覧ください。

# Ⅴ. 各部名称と機能

## 車体後部

車体後部には、車輪開放レバー、転倒防止後輪、モーター駆動部が装備されています。
図6をご覧ください。

## 車輪開放レバー

車輪開放レバーはゴーゴーのボディ後部の右側にあります。

- ■ 車輪開放レバーを前方に倒すと車輪のロックが解除され、ゴーゴーを手で押せる状態になります。
- ■ 車輪開放レバーを後方に倒すとと車輪はロックされ、走行可能な状態になります。
- ■ 車輪開放状態でアクセルレバーを押すと、モーター本体は動いているので作動音はしますが、力は車輪に伝わっていないので、ゴーゴーは動きません。図6をご覧ください。

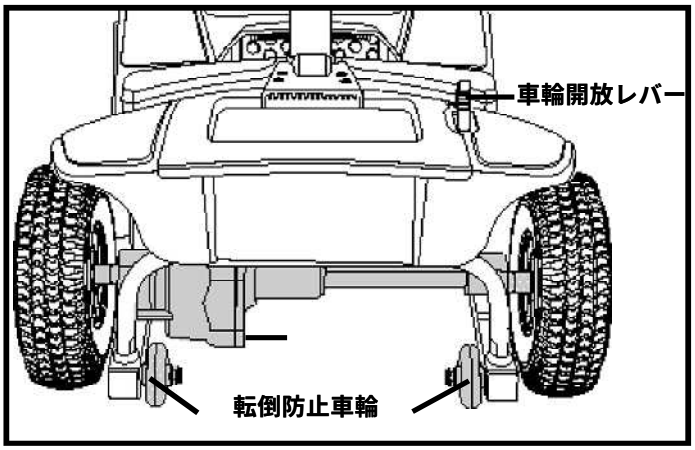


図6. 車体後部

危険
- ■ 車輪開放状態ではゴーゴーに乗らないでください。車輪にロックがかかっていないため、勝手に動き出す可能性があります。
- ■ 電源が切れていることを確認してください。
- ■ たとえ緩やかな坂道でも、傾斜のある路面では車輪開放状態にしないでください。コントロールがきかなくなり、けがの原因になります。
- ■ 乗車中に操縦者自身が車輪開放レバーを開放状態に切り替えないでください。けがの原因になることがあります。

## 転倒防止後輪

転倒防止後輪は安全上、重要な部分です。どのような条件下でも転倒防止後輪を取り外さないでください。

注意　転倒防止後輪は安全上、重要な部分です。
どのような条件下でも転倒防止後輪を取り外さないでください。

## モーター駆動部　(外側からは見えません)

モーター駆動部はバッテリーからの電力を動力に変換して車輪を駆動させ、ギアにより速度を制御します。

# Ⅴ. 各部名称と機能

## バッテリーパック

ゴーゴーは簡単に取り外せるバッテリーパックを備えています。
上部の取っ手をつかみ持上げるだけで取り外しが出来、室内での充電も簡単にできます。
バッテリーパック内には12ボルト12アンペアのバッテリーが2個納められています。(図7.参照)

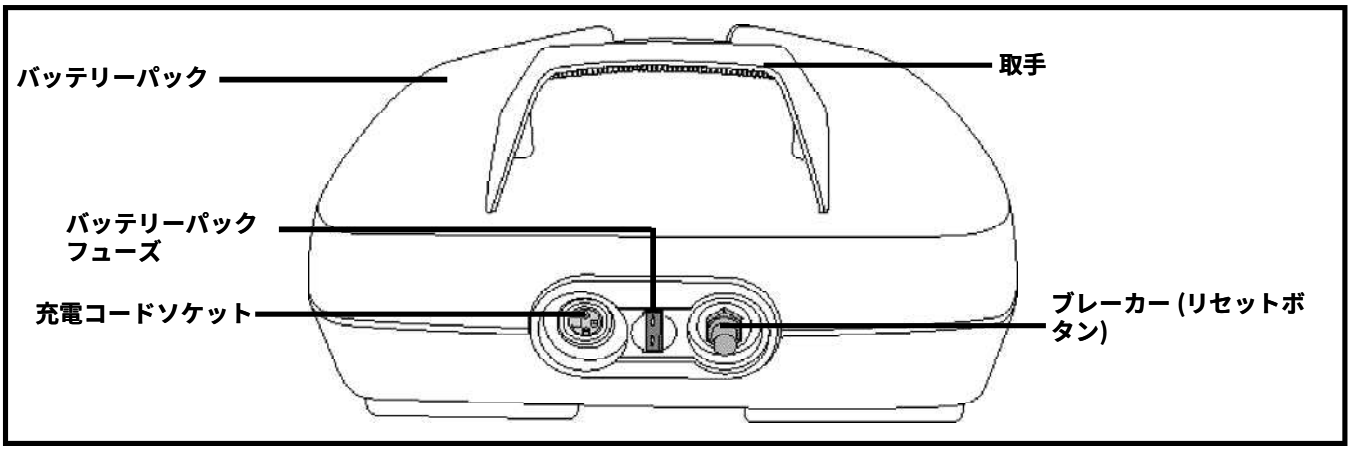


図7. バッテリーパック

## 充電コードソケット

付属のオフボード充電器を差し込んで充電します。

## ブレーカー (リセットボタン)

バッテリーの電圧が下がったり、積載重量がオーバーしたり、急な坂で大きな負担がかかった場合、ブレーカーが作動して、モーターや電気機器を保護します。ブレーカーが作動した場合は、以下の手順を行なってください。

- ブレーカーが作動するとリセットボタンが飛び出し、全電気系統が遮断されます。
- 1～2分そのままでお待ちください。
- リセットボタンを押してブレーカーをリセットしてください。
- ブレーカーが頻繁に作動する場合は、充電の頻度を増やしてください。それでもその状態が続く場合は、バッテリーを交換してください。

## 操作パネルフューズ

操作パネルのフューズはバッテリーパックの下にあります。 (図8. 参照) 操作パネル上での操作を行っても反応がないときはこのフューズを点検してください。XI. トラブルシューティングを参照。

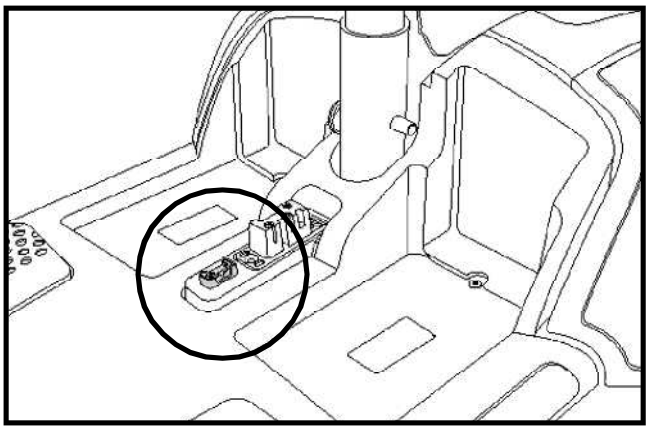

図8. 操作パネルフューズ

# V. 各部名称と機能

## オフボード充電器

充電の際は、３ピンの側をバッテリーパックにある充電コードソケットに差込み、もう一方を壁のコンセントに差込みます。 (図9. 参照)

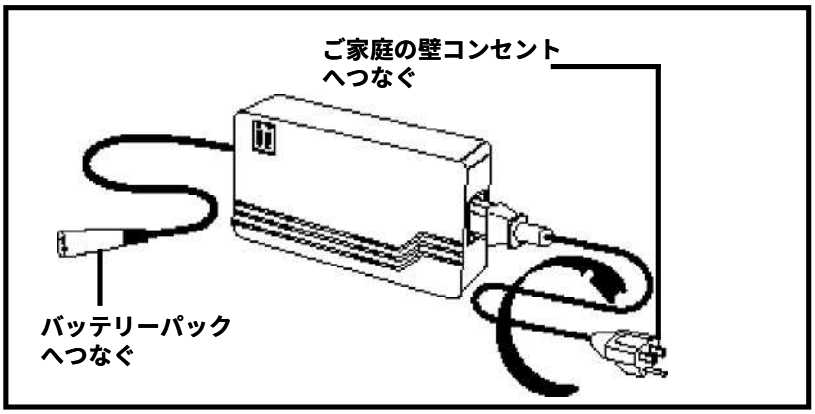


図9. オフボード充電器

## 外装パネル

外装パネルは赤･青2色をお好みで付け替えることができます。

## 外装の取り外し方:

タブ差込穴の裏側から指を入れて押してください。.
(図10, 11, 12.参照)

## 操作パネル日よけの外し方:

1. 操作パネル日よけの上部をつまみ車体後部方向へ軽く引っ張りマジックベルトをはがしてください。
2. 両サイドを軽く外側に同時に引っ張り外してください。 (図13.参照)

## 外装パネルの取り付け方

それぞれの外装のタブと差込穴を合わせ軽く力を加えてください。

*註: それぞれの外装パネルが確実に固定されているの確認してください。*

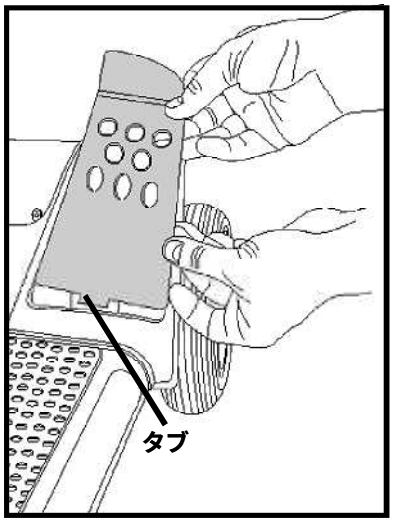


図10. 前フェンダーパネル

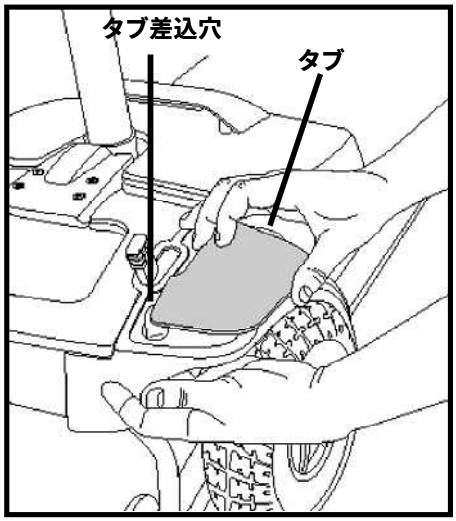


図11. 後フェンダーパネル

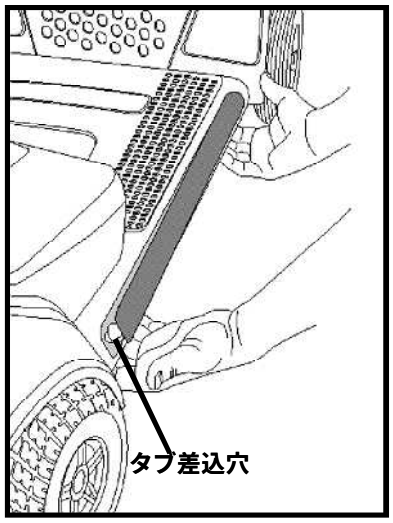


図12. サイドパネル

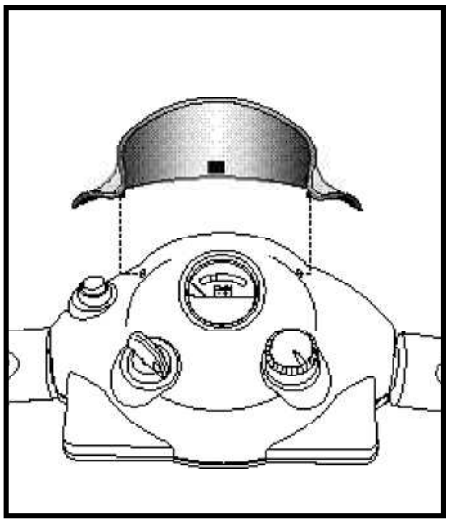

図13. 操作パネル日よけ

# VI. バッテリーと充電

ゴーゴーにはメンテナンスのいらない17アンペアの密閉型鉛蓄電池が2個搭載されています。

- 初めて使用する前に、バッテリーをフル充電してください。
- こまめに充電を行ない、フル充電状態を保つようにしてください。

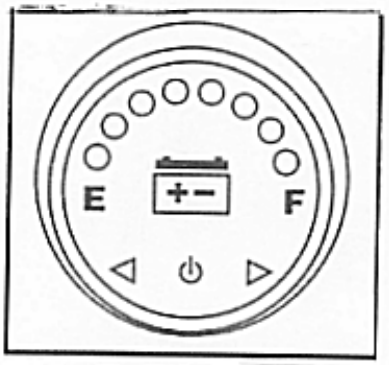

図14. バッテリー残量メーター

## バッテリーの残量を知るには

操作パネル上のバッテリー残量メーターはおおよそのバッテリー残量を表示します。緑色はフル充電、オレンジ色は低充電、赤色は充電がすぐに充電が必要な状態であることをそれぞれ表しています。（図14 を参照）

キーがキーホール差し込まれていなかったり、充電コードが本体に差し込まれているとバッテリー残量は表示されません。

*注: バッテリー残量メーターの目安は距離や積載重量等の使用状況により変わる場合があります。*

## 充電の手順

> **警告** 充電の際はオフボード充電器を直接壁のコンセントに差し込み充電してください。延長コード等のご使用はおやめください。
>
> 充電の際は必ず付属のオフボード充電器をご使用ください。

バッテリーパックは本体から取り外しても、搭載したままでも充電できます。

次の手順に従い、安全に充電を行なってください。

1. 壁のコンセントの近くにゴーゴーを置いてください。
2. キーをキーホールから抜いてください。
3. 車輪開放レバーが後方に倒れている（車輪がロックされている）ことを確認してください。.
4. バッテリーパックの充電コードソケットのゴムカバーを外し、オフボード充電器の3ピン側を差し込んでください。
5. オフボード充電器のもう一方のコードを壁のコンセントに差し込み、8時間～14時間ぐらい充電してください。
6. 完全に充電されたら、まず壁のコンセントから充電コードを抜き、次にバッテリーパック上のソケットから3ピンコードを抜いてください。
7. 充電コードソケットのゴムカバーを戻してください。

*注: ゴーゴーには充電保護機能があります。*
*バッテリーの充電中にはゴーゴーは作動せず、　バッテリー残量メーターも作動しません。*

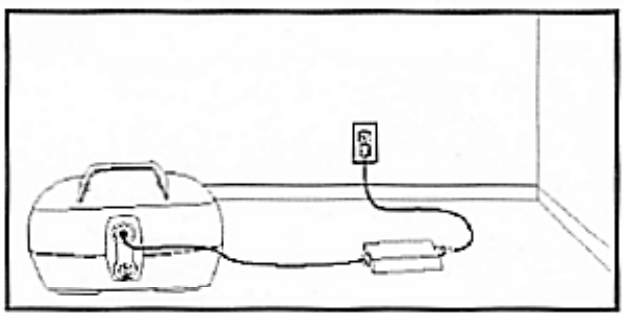
図15 バッテリー充電

# VI．バッテリーと充電

## 充電器のＬＥＤ表示

充電器には2つのLEDランプ(Power と Charge)があり、それぞれの点灯の組み合わせで充電状態を確認できます。

| | |
|---|---|
| Power (緑)<br>Charge (赤) | 充電中<br>充電しています。 |
| Power (緑)<br>Charge (緑) | 充電中<br>充電されました。 |
| | |
| Power (赤)<br>Charge (off) | 故障、断線、逆配線、バッテリーがつながっていない |
| | |

## よくある質問

### 充電器のしくみ

充電率が低いと充電器はより多くの電流をバッテリーに供給します。フル充電状態に近づくとバッテリーへの供給電流はどんどん減っていきます。バッテリーが完全に充電されると供給電流はほぼアンペアになり、過充電になるのを防ぎます。

### 充電できない場合は？

■ 充電コードが完全に差し込まれているか確認してください。

### 充電の頻度は？

次の二つのことを考慮して、充電する頻度を決めてください。

■ 毎日使用するのか

■ 不規則、あるいはたまに使用するのか

充電不足や充電方法の誤りは故障や動作不良の原因となる場合があります。ゴーゴーのオフボード充電器は過充電を防ぐ機能を装備しておりますが、下記の手順に従うことで、バッテリーの安全性と信頼性をより高めることができます。

■ 毎日使用する場合、その日の使用が終わり次第充電してください。8時間～12時間充電をお勧めします。翌朝には充電が完了しています。

■ 使用頻度が1週間に1度以下の場合、少なくとも1週間に1回は、12時間～14時間充電してください。

■ 常にフル充電の状態を保つようにしてください。

■ バッテリー残量が少なすぎる状態は避けてください。

■ 24時間以上の連続充電はしないでください。

### 「一回の充電で走行距離を延ばすには？」

走行する道路の路面や傾斜、気候条件、積載重量、その他によって、一回の充電で走行できる距離は違ってきます。一回の充電でできるだけ走行距離を延ばす方法をいくつかご紹介します。

# VI．バッテリーと充電

■ ご使用の前にフル充電してください。
■ できる限り坂道、凸凹のある路面、柔らかい路面を避ける道順を選んでください。
■ 荷物は必要最小限にしてください
■ 走行中は平均速度を保つようにしてください。
■ 急停止や急発進を避けてください。

**公共の交通機関でのご使用**
ご使用前に事前に管理機関に連絡することをお勧めします。

**「バッテリーの種類とサイズは？」**

メンテナンスのいらない密閉型鉛蓄電池をご使用ください。自動車のバッテリーなどは、長期の放電に対応するようには設計されておりませんので、ゴーゴーには使用しないでください。

**警告** バッテリーの中には劇薬が入っています。液漏れや爆発等の原因になる場合がありますので指定された以外のバッテリーの使用はおやめください。

*注: 密閉型鉛蓄電池のキャップは絶対に外さないでください。*

バッテリーは以下の条件に合った弊社指定の製品をご使用ください。:

| バッテリーの仕様 | |
|---|---|
| 型式 | ディープサイクル・密閉型 |
| 電圧 | １２Ｖ |
| 容量 | １７ ＡＨ |

**「新しいバッテリーなのにパワーが弱いような気がするのですが？」**
初期性能が高温や低温の影響を受けることがあります。高温は充電量を低下させ、低温は電力供給を遅くさせるので、バッテリーの充電に通常より時間がかかることがあります。また、バッテリーが新しい環境の温度に慣れて安定するまでに２～３日かかることがあります。

バッテリーの性能を最大限に引き出すため、またバッテリーの寿命をできるだけ延ばすために、以下の項目にしたがってバッテリーを充電してください。

1．バッテリーをはじめてご使用になる前に必ずフル充電をしてください。 これによりバッテリーの最大性能のおよそ８８％を引き出すことができます。
2. ゴーゴーをはじめてご使用になる際は、できるだけ平らで安全な場所でご使用ください。 また、見知らぬ場所やご自宅などからあまり遠い場所までのご使用は避けてください。 バッテリーが十分に馴染んでいない状態で、負荷をかけすぎると破損することがあります。
3. ゴーゴーをご使用になられた後は必ずフル充電をしてください。これで、バッテリーは最大性能の９０％以上を引き出すことになります。
4. 再びゴーゴーをご使用ください。
5. その後、またフル充電をします。
6．４回～５回ほど充電と使用を繰り返していただきますと、バッテリーの最大性能を完全に引き出すことができ、また長くご使用いただけるようになります。

# VI．バッテリーと充電

**「バッテリーの寿命をより延ばすためには？」**
**可能な限りフル充電状態を維持してください。長期間の充電不足の状態、不規則な充電、充電不足のままの保管などはバッテリーの性能を低下させバッテリーの寿命を短くします。**

**・「バッテリーの保管方法は」**
**「XII. お手入れとメンテナンス」をご覧ください。**

## バッテリーの交換手順

**警告** **バッテリーの端子及びその周辺には鉛を含む物質が付着している場合があります。取扱後には必ず手を洗うようにしてください。**

### バッテリーの取外し

1. **取っ手を持ち持上げ、バッテリーパックを本体から外してください。**
2. **上下をさかさまにしてください。**
3. **バッテリーパックのすべてのねじを外してください。**
4. **上下を元にもどし、蓋を外してください。**
5. **ボルトとナットを外してバッテリーの４つの端子に接続されているケーブルを外してください。**
6. **バッテリーをケースから取り外してください。**

## バッテリーの交換

1. **バッテリーパックの下カバーに新しいバッテリーを端子を上にした状態で置いてください。**
2. **バッテリーの端子にケーブルをつないでください。**
   - **赤いケーブルを (+)につないでください。**
   - **黒いケーブルを (-) につないでください。**
3. **上カバーをかぶせ、静かに上下さかさまにしてください。**
4. **上下のカバーがしっかりと合わさっていることを確認し、すべてのねじをしめてください。**
5. **バッテリーパックを本体に戻してください。**

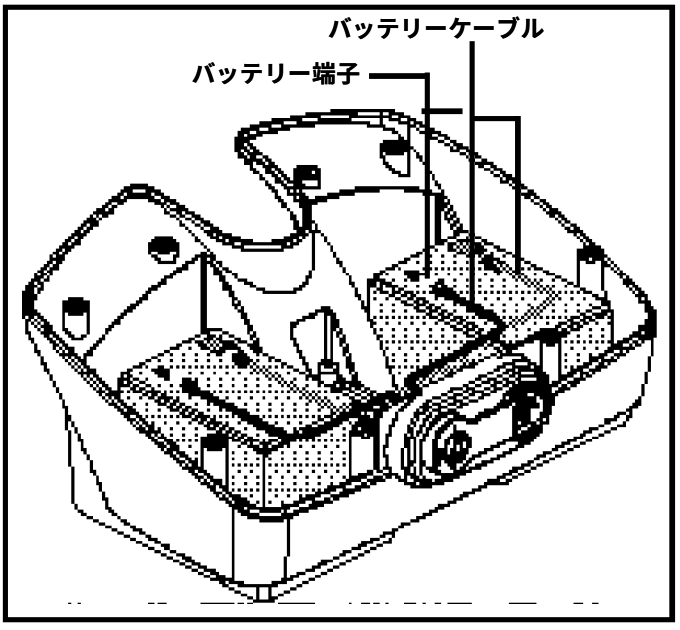


**図16． バッテリーの交換**

## バッテリーの廃棄とリサイクルについて

**バッテリーの故障やバッテリーの寿命の際は、ご購入の販売店またはアルケアコーポレーションに直ちにご連絡ください。**

# VII. 操作

## ご使用の前に

- ■ バッテリーはフル充電してありますか？ 「VI. バッテリーと充電」P20を参照
- ■ 車輪開放レバーが後側へたおれて（車輪がロックされている）いますか？「V.各部名称と機能」P18参照
  車輪開放状態では、絶対にゴーゴーに乗らないでください。
- ■ 前輪固定ノブは解除(横)されていますか？ 「IX. 分解及び組立」P26参照

## シートに座る前に

1. キーがキーホールから抜かれていることを確認してください。

> **警告** ゴーゴーから乗り降りする前に、必ずキーを抜いてください。アクセルレバーに無意識に触れた時等の予期せぬ動きを防ぎます。

2. ゴーゴーの横に立ってください。
3. シートが固定されていることを確認してください。
4. 肘掛を持上げ、シートに腰掛けてください。
5. 肘掛を下げてください。

## 操作前の調整と点検

- ■ シートの高さは適切ですか？
- ■ シートは確実に固定されていますか？
- ■ ハンドルは操作しやすい角度にしっかりと固定されていますか？「VII. 快適に使用するための調整」P25を参照
- ■ キーをキーホールに差し込み右に(時計回り)回してください。「V.各部名称と機能」P17参照
- ■ クラクションホーンは鳴りますか?
- ■ 進行方向に人やペットや障害物はありませんか？
- ■ できるだけ悪路や坂を避けるような道順を決めてありますか？

## ゴーゴーの操作

- ■ 通行する方向を決めてください。
- ■ スピード調整ボタンを希望の速度にしてください。 「V.各部名称と機能」P17参照
  低速にしたい場合は、亀マークのボタンを押してください。
  高速にしたい場合は、うさぎマークのボタンを押してください。
- ■ 前進または後進のアクセルレバーを親指で軽く押してください。
- ■ スピード調整ボタンで設定した速度になるまで、スムーズに加速していきます。
- ■ 曲がりたい方向にハンドルを切ってください。
- ■ アクセルレバーを放すと減速し、停止します。
- ■ 停止すると自動的に車輪がロックされ、駐車状態になります。

*注: アクセルレバーは、押し具合で速度を微妙に調節することができます。発進時は急加速を避けるために、徐々に押していくようにしてください。*

## 降車する際は

1. 平らで安全な場所に完全に停止させてください。
2. 必ずキーをキーホールから抜いてください。
3. 降りる側の肘掛を持上げ、注意しながら降りてください。

# VIII. 快適に使用していただくための調整

**警告　ハンドル角度やシート高を調整する際は、必ずキーを抜いてから行ってください。**

## ハンドル角度の調整

**ゴーゴーのハンドル角度は無段階に調整できます。**

1. **ハンドル角度固定ダイヤルをゆるめます。(図9. 参照)**
2. **ハンドルを操作しやすい角度に傾けてください。**
3. **ハンドル角度固定ダイヤルをしっかりと締めます。**

***注: ハンドル角度を特に低く調整する場合は、最初にシート高を低くしてから 行ってください。***

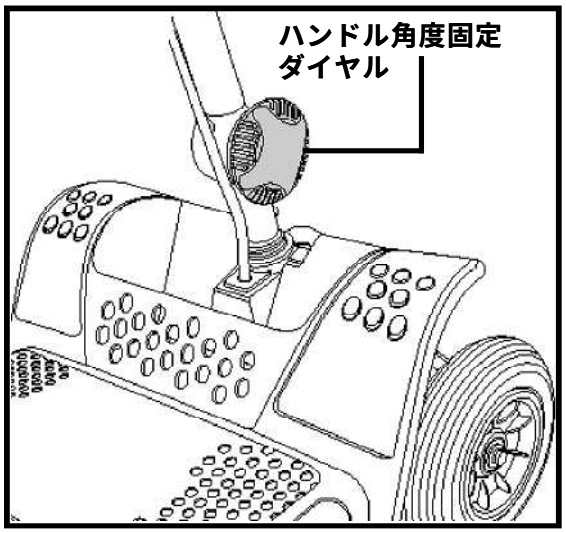


**図17.ハンドル角度の調整**

## シートの回転

**乗り降りしやすいようにシートを回転することができます。**

1. **シートの下右側にあるシート回転レバーを持上げてください。**
2. **そのままお好きな角度にシートを回転させてください。**
3. **シート回転レバーを放してください。.**

## シート高の調整

**シート高は2段階に調整可能です。**

1. **シートを持上げ、引き抜いてください。**
2. **固定ビンのリング部をつまみ、引き抜いてください。**
3. **上下どちらかの高さを選んでください。**
4. **シートポスト上部とシートポスト下部の穴の位置を合わせてください。**
5. **穴に固定ピンを差し込んでください。**
6. **シートをシートポストに差し込んでください。**

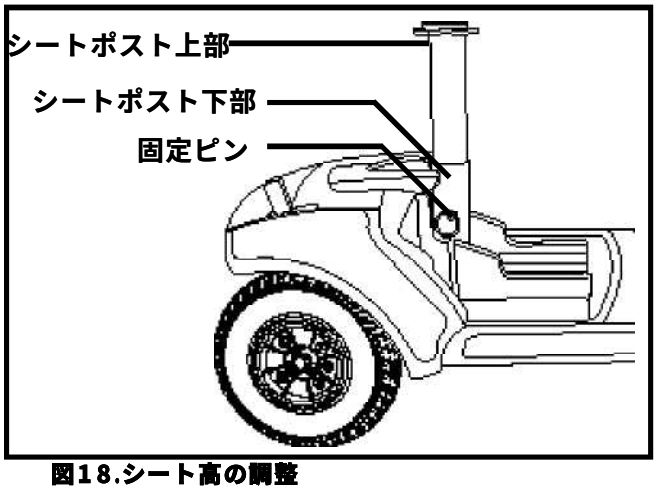


**図18.シート高の調整**

## 足元かご

**ハンドルの根本にある足元かごは必要なければ取外すことができます。(図19.参照)。2本のねじを外して取外してください。**

***注: 足元かごには、財布、鍵などの貴重品は入れないようにしてください。***

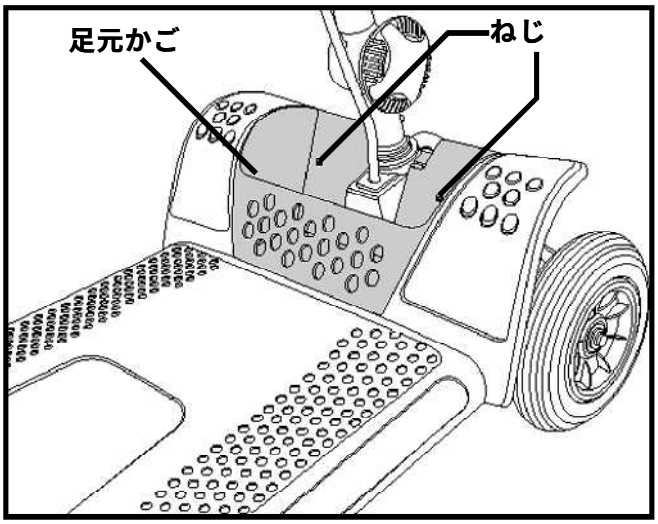


**図19.足元かご**

# IX. 分解及び組立

## 分解

ゴーゴーはいっさいの道具を使用せず簡単に分解・組立が出来ます。
分解・組立はそれぞれの部品を並べることが出来る余裕のある場所で行ってください。
平らでない地面、濡れていたり湿気のある場所では行わないでください。

> **注意** 怪我の原因になりますので、分解部分を持上げるときは決して無理をしないでください。独りでは困難な場合、他の方に手伝ってもらいましょう。

ゴーゴーは シート、前部、後部、バッテリーパックの4つ(かごを含めて5つ)の部分に分解できます。
(図20. 参照)

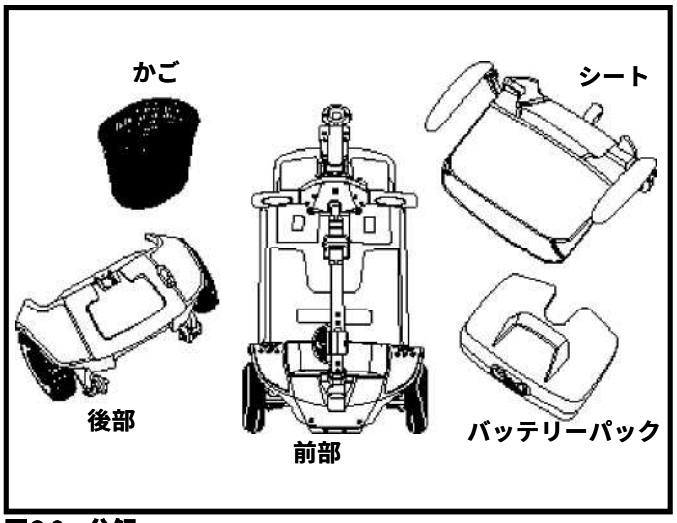

図20. 分解

分解の前にはキーを抜き、車輪開放レバーを後側に倒し、車輪がしっかりロックされているのを確認してから行ってください。

1. 前輪の上の前輪固定ノブを押しながら90度回し、固定位置(図12A)にしてください。
   こうするとハンドルポストが固定され分解しやすくなります。
   このときハンドルを正面まっすぐに向けた状態にしないとノブが押せませんので注意してください。
2. シートの座面を持ち、まっすぐ引き上げるとシートが抜けます。
3. バッテリーパックを取り外してください。バッテリーパックはマジックベルトで固定されていますので、取っ手をつかんで持上げるだけで取り外せます。

図21. 前輪固定ノブ (解除)

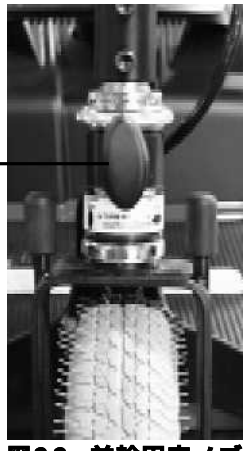

図22. 前輪固定ノブ (固定)

## フレームの分解

1. ハンドルを倒してハンドル角度固定ダイヤルをしっかりとしめ固定してください。 (図15. 参照)
2. フレーム解除レバーをフレーム固定フックがフレームチューブから離れるまで持上げてください。 (図23. 参照)
3. フレームをゆっくりと切り離してください。

# IX. 分解及び組立

## 組立

1. 車体の前部と後部を縦に並べて置き、後部を垂直に立ち上げた状態にしてください。 .
2. フレーム解除レバーをつかみ車体前部のシートポスト側をを持上げてください。(図24. 参照)
3. 車体後部のフレームチューブに車体前部のフレーム固定フックを しっかりと引っ掛けてください。(図24. 参照)
4. そのまま車体前部をゆっくりと下ろしていくと車体後部とロックされます。 (図24参照)
5. ハンドル角度固定ダイヤルをゆるめて, お好きな角度にハンドルポストを立ち上げてください。(図17参照)
6. ハンドル角度固定ダイヤルをしっかりとしめ直してください。(図17参照)
7. バッテリーパックを元の位置に戻します。
8. シートをシートポストに差し込みます。
9. 前輪固定ノブを90度回し、固定を解除(ノブが水平な状態)してください。 (図12. 参照)

事故や怪我の原因になりますので、分解以外の時は前輪固定ノブを必ず解除位置(図12)にしてください。固定位置で操作しますと衝突などの事故をおこす可能性があります。

.

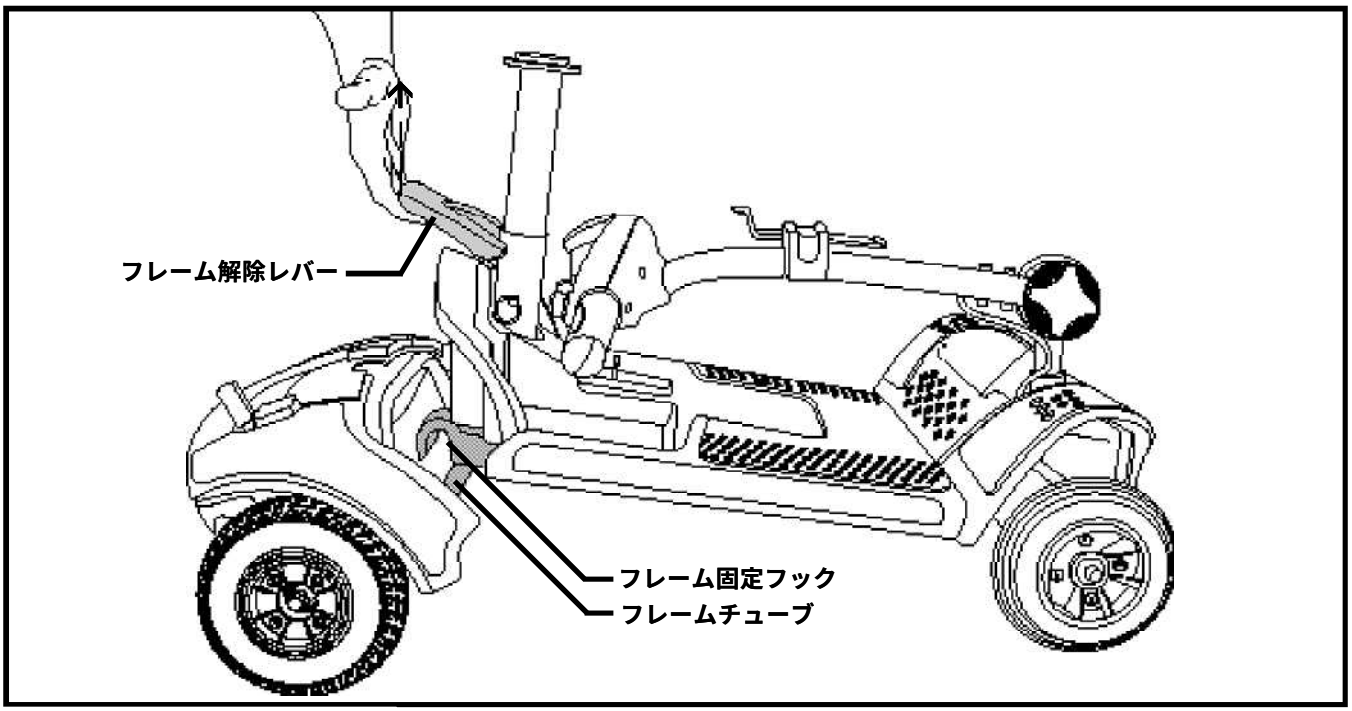


図23. フレーム解除レバー

# X．トラブルシューティング

**どんなに優れた製品でも、まったくトラブル（不具合）が無いとは言い切れません。お客様がゴーゴーをご使用していくうちに、いくつかのトラブルや不都合を感じることがあるかもしれません。しかし、実際は解決できるトラブルがほとんどなのです。多くの原因は、バッテリーがフル充電されていない、またはバッテリーが劣化して充電電力を保持できないなどです。**

## ビープ音トラブル診断

**ご使用のゴーゴーには、基本的なトラブルや故障をピープ音で知らせる機能があります。ビープ音の鳴る回数によって素早く簡単に問題点と解決方法が分かります。以下の表を参照してください。**

***註:　ビープ音の原因を解決したのにゴーゴーが動作しない場合は、一度完全に電源を切って、再度電源を入れなおしてみてください。***

| ピープ音コード回数 | 問題点 | 解決法 |
|---|---|---|
| | | |
| 2 | バッテリーの電圧が低すぎます。 | ・バッテリーをフル充電状態にしてください。<br>・バッテリーが劣化していたら交換してください。 |
| 3 | バッテリーの電圧が高すぎます。 | 購入店またはアルケアコーポレーションに連絡して下さい。 |
| | | |
| 5 | 車輪開放レバーが開放状態の可能性があります。 | キーを抜き車輪開放レバーを後方に倒してから、再度キーを入れて操作して下さい。 |
| 6 | 走行レバーを押した状態でキーを差し入れた可能性があります。 | 走行レバーから完全に手を離し、再度キーを差し入れて下さい。 |
| 7 | 走行レバー又は速度調整部の故障の可能性があります。 | 購入店またはアルケアコーポレーションに連絡して下さい。 |
| 8 | モーターの接続が外れている可能性があります。 | コネクタや配線の接触を確認してください。<br>解決できない場合は購入店またはアルケアコーポレーションに連絡して下さい。 |
| 9 | 以下の原因が考えられます。<br>・キーが差された状態でバッテリーパックを乗せた。<br>・走行中衝撃によりバッテリーパックが浮いた可能性がある。<br>・モーターやコントローラーが熱を持ちすぎてプロテクトモードが働いている。 | キーをいったん抜いてから再度差し込んでください。<br>モーターやコントローラが熱を持っている場合はキーを抜き5分以上待ち冷ましてください。その後キーを入れて再操作してみてください。 |

## ゴーゴーがまったく動かない時には？

- **キーをキーホールに完全に差し込まれて、右に回りきっているか確認してください。**
- **バッテリーパックがしっかりと固定されているかを確認してください。**
- **バッテリーが充電されているか確認してください。（P.20「VI..バッテリーと充電」参照）**
- **ブレーカーのリセットボタンを押して3分ほど待ってみてください。（P.18「V.各部名称と機能」参照）**
- **バッテリーパックのフューズが切れていないか確認してください。(図24.25.参照）.**

## ヒューズの交換

1. **ヒューズを抜いて下さい。**
2. **ヒューズが切れているか確認してください。**
3. **新しいヒューズと交換してください。**

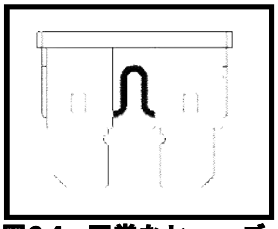

**図24．正常なヒューズ**

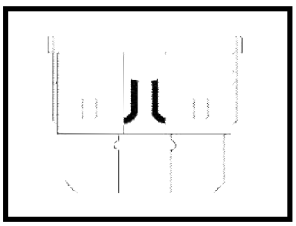

**図25．切れたヒューズ**

# X．トラブルシューティング

**警告　故障の原因となりますので、交換するヒューズは交換前と同じ仕様のものを**
**ご使用ください。**

## 充電が出来ない時には？

- バッテリーパックにフューズがついているか、交換が必要な場合は交換してください。
- 充電中にオフボード充電器のＬＥＤランプが点灯しているか確認してください。
- オフボード充電器の両側のコードがそれぞれしっかりと差し込まれているか確認してください。
- 頻繁にフューズが切れる場合、販売店またはアルケアコーポレーションまでお問い合わせください。

## モーターの作動音がしているのにゴーゴーが動かない時には？

- 車輪開放レバーを前方に倒していないか確認してください。車輪開放状態ではモーターの動力が車輪へ伝わりません。
- 車輪開放レバーが前方に倒れていたら、後方にしっかりと傾けてください。

## ブレーカーが繰り返し作動する時は？

- バッテリーの充電を繰り返してください。 （P.20「VI..バッテリーと充電」参照）
- 問題が解決しない場合は、販売店またはアルケアコーポレーションにお問い合わせください。
- バッテリーの型式については、「VI..バッテリーと充電」か 「IV. 仕様」をご覧ください。

## バッテリー残量メーターの表示が低い状態で、スムーズに走行できない場合は？

- バッテリーをフル充電してください。（P.20「VI..バッテリーと充電」参照）
- 問題が解決できない場合、販売店またはアルケアコーポレーションまでお問い合わせください。

問題が解決できない場合、サービスに関しての情報は、販売店またはアルケアコーポレーション・サポート係までお問い合わせください。

# XI. お手入れとメンテナンスス

ゴーゴーには最小限のお手入れとメンテナンス（保守・点検）が必要です。
定期的な点検、メンテナンスを必要とする個所について説明します。

## タイヤの磨耗

- タイヤの磨耗を１ヶ月毎に定期点検してください。
- 市販のタイヤを長持ちさせる保護剤をタイヤの側面のみにご使用ください。.

> **危険** スリップや転倒の原因となりますので、タイヤ保護剤は路面に接する部分には決して塗布しないでください。

## 外装

- バンパーや外装には市販されているツヤ出しの保護スプレーを塗布すると良いでしょう。

> **危険** 滑りやすくなり非常に危険ですので、ゴムやビニールの保護剤をシートに塗布しないでください。

- ボディ材質は耐久性に優れたＡＢＳプラスチックウレタン処理の表面加工がされています。
- 軽くカーワックスを塗ると表面の輝きが保てます。

## 接続コネクタ

- すべてのケーブルやコネクタの接続部を月に１度か2度、目視または触れて点検してください。
- コネクタやケーブルに劣化や破損が見つかった場合は、販売店またはアルケアコーポレーションに修理・交換を依頼してください。

## ベアリングとモーター駆動装置

- これらの部品は潤滑油内封タイプで、購入後の潤滑剤の補給は必要ありません。

## 操作パネル・充電器・電気系統

- 操作パネル・充電器・電気系統には水をかけないでください。。
- 水に濡れた場合は、乾いた布で水分をふき取り、ゴーゴーを動かす前に完全に乾燥させてください。

## 保管

2 週間以上、ゴーゴーを使用しない場合は、次の項目を守って保管してください。

- 保管の前にバッテリーをフル充電してください。
- バッテリーパックを外してください。
- 乾燥した温かい場所に保管してください。
- ４５度以上の高温や氷点下のような極度な低温の場所には保管しないでください。

> **警告** 凍結したバッテリーは決して充電しないでください。低温あるいは凍結したバッテリーは、数日間暖かい場所に置いてから充電してください。

長期間保管する場合、ボディフレームの下に板などを引きタイヤを浮かせることでタイヤを長持ちさせることが出来ます。

# XII. 保証

## １年間保証

**材質や製造課程に欠陥があると認められた場合のみ、あらゆる部品の修理・交換を購入期日から１年間無償で行ないます。**

**販売店またはアルケアコーポレーション・サポート係へお問い合わせいただく前に、欠陥部品や車両本体の返送はしないでください。その場合、送料および輸送中の損害は購入者の責任になります。**

## 保証適用除外

- **ＡＢＳプラスチックボディとデッキカバー**
- **バッテリー**
- **タイヤ**
- **シートカバーとシート**
- **購入者が販売店を通さずに修理や改造を行なった場合の製品全体**
- **特殊な気候条件や路面環境での使用**
- **バッテリーの液漏れ、誤った操作、事故、不注意、誤ったメンテナンスや保管方法、商業使用等の通常の使用目的以外の使用、この説明書の指示に従わない使用方法、危険な場所での走行による故障、損害、事故については補償の対象外となります。**
- **保証期間を過ぎた製品の修理費・訪問サービス費用・送料など**

www.alcarecorp.co.jp

**株式会社 アルケアコーポレーション**
**〒270-0145**
**千葉県流山市名都借996**